



**飛躍への挑戦！**  
**高知県産業振興計画**

## 産業成長戦略の主な取り組み 〈PR版パンフレット抜粋〉

---

〈農業分野〉	.....	1
〈林業分野〉	.....	2
〈水産業分野〉	.....	3
〈商工業分野〉	.....	4
〈観光分野〉	.....	5
〈地産地消・外商戦略〉	.....	6

# 産業成長戦略の主な取り組み 農業分野

現状





## 第2期計画の取り組み

H24

H25

H26

H27

生産	<p>◆<b>本県農産物の品質を高め、生産量を増やす</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高収量・高品質に向けた取り組みの展開(冊子P154~P163)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学び教えあう場」の取り組みをさらに県内に広げる</li> <li>・有望品目や葉タバコ代替品目の導入を検討し、農業収入の増加につなげる</li> <li>・レンタルハウス整備や園芸用ハウス流動化等への支援により、営農定着や規模拡大への負担を軽減する</li> </ul> </li> <li>○環境保全型農業のトップランナーの地位を確立(冊子P164~P173)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・天敵導入など安全・安心につながるIPM技術を全地域、全品目へ普及</li> <li>・オランダとの友好園芸協定を活かす</li> <li>・高収量・高品質に向けた「新施設園芸システム」を構築する</li> </ul> </li> <li>○米・土佐茶・畜産など地域の特産物の生産拡大やブランド化、生産性の向上を進める(冊子P184~P193)</li> </ul> <p>◆<b>担い手の確保と、地域の中核となる農業者等の規模拡大を進める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新規就農者の確保・育成と、実践研修やサポートハウスなどによる営農定着を支援する(冊子P198)</li> <li>○農地の集積による規模拡大や、経営体質の強化を進める(冊子P200~P203)</li> </ul> <p>◆<b>中山間地域の農業を維持・活性化させる</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○集落営農を県内全域へ拡大する(冊子P194)</li> <li>○こうち型集落営農へのステップアップを支援する(冊子P194)</li> </ul>	 <p>学び教えあう場の設置</p>  <p>IPM技術として導入される天敵昆虫</p>	
	加工	<p>◆<b>生産と一体となった加工ができる体制づくりを目指す</b></p> <p>◆<b>農業者の収入につながる地域資源の加工を進める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○農産物加工に取り組む人材を育成する(冊子P196)</li> <li>○地域資源を活用した商品開発や事業者とのマッチングを進める(冊子P196)</li> <li>○農産物加工品のブラッシュアップを支援する(冊子P196)</li> </ul>	
	流通・販売	<p>◆<b>園芸品の基幹流通を強化するとともに、実需者のニーズに対応できる新たな流通・販売体制を構築する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○産地を伝える販売を強化し、本県農業の取り組みへの理解を促す(冊子P174~P181)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・「新園芸ブランド」による販売を拡大する</li> <li>・本県農業の取り組みを理解してくれるパートナー量販店での販売を強化する</li> <li>・流通関係者等の産地招へいや、メディアの活用、学校等への出前授業の実施により、産地の取り組みをPRする</li> </ul> </li> <li>○新たな販路を開拓するとともに、実需者のニーズを的確に捉え生産に活かす(冊子P174、P178、P182)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・市場流通以外の「顧客と産地をつなぐ新たな受発注システム」を構築する</li> <li>・こだわり野菜・果実の生産者と多様なニーズを持った実需者とのマッチングを進める</li> <li>・ユズ玉や果汁、花き等の輸出を推進する</li> </ul> </li> </ul> <p>◆<b>特産農産物のPRや販促、商談会等により販路を拡大する(冊子P184~P193)</b></p>	 

農業産出額 930億円(H22)

流通・販売

加工

生産

現状

「10年後の目指す姿」を実現するためには、これまでの施策の延長線上の取り組みに加えて、新たな発想による取り組みを行うことが必要



この新たな発想による取り組みの「戦略的な方向性」を「さらなる飛躍へのポイント」として整理。第2期計画の4年間を通して、より具体的な戦術を練り上げていきます

## 4年後の目標

- IPM技術がより高度化するとともに、全地域・全品目へ普及
- 集落営農数  
H23: 164組織  
→H27: 250組織
- 集落営農のうち、こうち型集落営農数  
H23: 17組織  
→H27: 32組織
- 新規就農者数  
230人/年

- 地域資源を活用した加工の取り組みが県内各地に広がる

- 本県農産物の販路開拓を通じ、実需者ニーズに合った柔軟な流通・販売体制ができている
- 実需者の声が産地にフィードバックされ、販売を見据えた生産ができている

さらなる飛躍へのポイント

**生産性の向上と、安全・安心による選ばれる産地の形成**

オランダ並みの生産性を目指す「新施設園芸システム」を県内各地に普及

**一経営体あたりの収入をアップ**

農地を集積

施設の高度化・大規模化

経営力のある企業的经营体を県内各地に育てる

**中山間で収入を得る仕組みを定着**

こうち型集落営農を通じた拠点ビジネスを各地域へ拡大

**農産物の付加価値を向上**

各地に生まれた加工の動きを産業に育てる

## 10年後の目指す姿

**農で働き高知で暮らす**

- 新規就農者数  
:250人/年

**若者からお年寄りまで笑顔で暮らせる中山間の農業の確立**

- 集落営農数  
:500組織
- 集落営農のうち、こうち型集落営農数  
:100組織

**攻めの外商で稼ぐ農業**

- 販売金額1,000万円以上の農業経営体の割合:20%(H22:11.5%)

農業産出額

1050億円以上を目指す

地域で暮らし稼げる農業

※上記の「冊子P〇〇」は、第2期高知県産業振興計画冊子(産業成長戦略編)におけるその項目の掲載ページです

# 林業分野

現状

木材・木製品製造業出荷額等150億円・原木生産量40.4万立方メートル(H22)

第2期計画の取り組み	
H24 → H25 → H26 → H27	
<b>原木生産</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林の集約化と経営委任の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営計画と森の工場の整備 (冊子P224)</li> </ul> </li> <li>○地形や地質にマッチした効率的な生産システムの導入を促進 (冊子P224)</li> <li>○皆伐による原木の増産 (冊子P224)</li> <li>○大型製材工場や県内製材工場等への原木の安定供給システムの構築 (冊子P226)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・協定取引の推進 (冊子P226)</li> </ul> </li> <li>○森林組合の経営力強化 (冊子P226)</li> <li>○自伐林家等による生産を促進 (冊子P226)</li> </ul> 
<b>加工体制</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大型製材工場等の施設整備の促進 (冊子P230)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型製材工場の整備と生産</li> <li>・単板工場の整備計画の検討</li> </ul> </li> <li>○県内事業者による大型製材工場整備 (冊子P232)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスプランの作成、工場の整備</li> </ul> </li> <li>○既存事業者の加工力の増強を推進 (冊子P232)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾燥施設等の新設及び増強</li> </ul> </li> </ul> 
<b>流通・販売</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大消費地に設置した流通拠点を活用した土佐材流通量の拡大 (冊子P234)</li> <li>○県外販売の窓口を一元化し、製品の安定供給を促進 (冊子P234)</li> <li>○大消費地への販路拡大 (冊子P234)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費地商談会や展示販売会の実施により、土佐材の知名度アップとロット販売量を増加</li> </ul> </li> <li>○品質が確保された製品の安定供給体制を確立 (冊子P234)</li> <li>○県産材を利用した木造住宅への支援 (冊子P236)</li> <li>○公共事業や公共施設等での県産材の利用推進 (冊子P236)</li> </ul>  <p>土佐材の流通拠点</p>  <p>TOSAZAI展</p>
<b>木質バイオマス</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○原木や林地残材の搬出に対する支援 (冊子P238)</li> <li>○木質バイオマス燃料の安定供給 (冊子P238)</li> <li>○木質バイオマスボイラーの改良及び低コスト化 (冊子P238)</li> <li>○幅広い分野での木質バイオマス利用を促進 (冊子P238)</li> <li>○燃焼灰の適正処理 (冊子P240)</li> <li>○コスト差を埋める支援の仕組みの検討 (冊子P240)</li> <li>○推進体制の強化 (冊子P240)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・木質バイオマスエネルギー利用促進協議会の参加者の拡大、協議内容の拡充</li> </ul> </li> <li>○木質バイオマス発電の推進 (冊子P240)</li> </ul>  <p>木質バイオマスボイラー</p>

※上記の「冊子POO」は、第2期高知県産業振興計画冊子(産業成長戦略編)におけるその項目の掲載ページです

4年後の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>～山の資産価値をアップ、中山間の雇用を確保～</li> <li>●立木の資産価値 20%アップ(H22年比)</li> <li>●担い手数 1,720人(75人増)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>～木材の付加価値を高める～</li> <li>●製材品の生産量 30万m<sup>3</sup>(30%増)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>～県外市場での認知度の向上～</li> <li>●県産材製品の県外出荷量 22万m<sup>3</sup>/年(70%増)</li> <li>～県内での県産材利用が拡大～</li> <li>●戸建て住宅の木造率 全国平均以上</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>～森林資源を生かし切り木の価値をアップ～</li> <li>●木質バイオマス利用量 34万トン(50%増) (金額換算:21億円)</li> </ul>

さらなる飛躍へのポイント

<ul style="list-style-type: none"> <li>○森林の集約化を一層推進</li> <li>○作業システムの改善による原木生産の効率化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○単板工場の誘致</li> <li>○製材工場の効率化・高品質化を進め、競争力を強化</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○県外への流通・販売システムのさらなる強化</li> <li>○土佐材の知名度の向上による活発な取引</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○木質バイオマスを低コストで大量に収集するシステムづくり</li> </ul>

10年後の目指す姿

<p>立木の資産価値 30%アップ (H22年比)</p> <p>担い手数 1,720人</p>
<p>製材品の生産量 35万5千m<sup>3</sup></p>
<p>県産材製品の県外出荷量 26万m<sup>3</sup></p> <p>戸建て住宅の木造率 四国No.1</p>
<p>木質バイオマス利用量 38万トン (金額換算:23億円)</p>

木材・木製品製造業出荷額等190億円以上を目指す  
原木生産量62万立方メートル以上を目指す

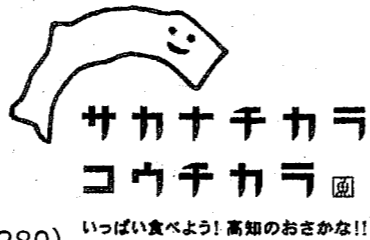
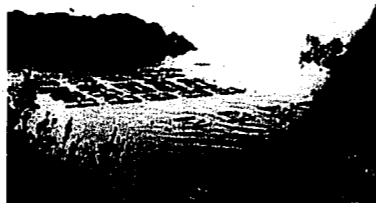
木材・木製品製造業出荷額等200億円以上を目指す  
原木生産量65万立方メートル以上を目指す  
山で若者が働く、全国トップ3の国産材産地

# 水産業分野

現状

沿岸漁業生産額 348億円 + 水産加工出荷額 160億円(H21)

第2期計画の取り組み	
H24 → H25 → H26 → H27	
生産	<p>◆漁業生産量の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○漁港・漁場の整備・活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・漁獲の増加に貢献する「土佐黒潮牧場」の整備(冊子P262)</li> <li>・カツオ一本釣り用活餌供給事業への支援(冊子P262)</li> </ul> </li> <li>○資源の確保と栽培漁業の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・磯焼け対策・干潟の機能回復(冊子P266)</li> <li>・ヒラメなどの大型種苗の放流と効果の検証(冊子P268)</li> </ul> </li> <li>○広く「漁業の担い手」を確保           <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規漁業就業者の研修受入地区や対象漁業種類の拡大(冊子P274)</li> </ul> </li> </ul> <p>◆養殖漁業の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○既存養殖漁業の振興(冊子P288)</li> <li>○企業活力を活かした養殖漁業の振興           <ul style="list-style-type: none"> <li>・高品質なカンパチ種苗の量産化(冊子P288)</li> <li>・マグロ養殖の振興(冊子P288)</li> </ul> </li> </ul>
	<p>◆地産外商のさらなる推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○魅力ある産地市場づくり           <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点市場における入札方法の改善や陸上集荷の実施(冊子P276)</li> </ul> </li> <li>○県漁協の買取販売事業の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>・収益性の確保に向けた販売子会社の設立(冊子P280)</li> </ul> </li> <li>○地産外商の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外消費地市場との交流促進(冊子P284)</li> <li>・買受人の組織化と主体的な活動の促進(冊子P284)</li> <li>・時間距離を短縮する新たな物流の構築(冊子P284)</li> <li>・マリン・エコラベルの活用などによる県産水産物のブランド化の推進(冊子P286)</li> </ul> </li> </ul>
	<p>◆水産加工の裾野の広がり新たな事業化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水産加工業の新たな事業化の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産・流通・加工業者のマッチングによるビジネス機会の拡大(冊子P296)</li> <li>・漁業者による6次産業の事業化(冊子P296)</li> </ul> </li> <li>○伝統的な水産加工業の振興           <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節・シラス加工業の振興(冊子P298)</li> </ul> </li> </ul>



※上記の「冊子POO」は、第2期高知県産業振興計画冊子(産業成長戦略編)におけるその項目の掲載ページです

## 4年後の目標

### 安定した漁業生産の確保

- 沿岸漁業総生産量を7万トン以上維持(H22:68,688t)
- 新規就業者(中核漁業者)を128名(32名/年)確保

- 販売金額が800万円以上の経営体510経営体(22%)以上(H20:20%)

### 県外市場での認知度向上・ブランド化

- 県外主要市場である大阪市場における本県産水産物のシェア18億円(5%)(H22:16億円、4.4%)

### 地域の雇用の場を確保

- 新たな水産加工業の取扱高10億円増加(H22:2億円)
- 漁村における新たな雇用の場が100名増加

沿岸漁業生産額 370億円 + 水産加工出荷額 170億円 以上を目指す

さらなる飛躍へのポイント

## 10年後の目指す姿

### 海・資源と共存する土佐の漁業

- 沿岸漁業生産量を7万トン以上維持
- 新規就業者(中核漁業者)を320名確保

- 販売金額が800万円以上の経営体4人に1人(25%以上)

### 鮮度で勝負! 土佐の魚

- 大阪市場における本県産水産物のシェア21億円(6%)

### 加工で広がる漁村の雇用

- 新たな水産加工業の取扱高40億円増加
- 漁村における新たな雇用の場が650名増加

- ・沿岸から沖合までの漁場整備
- ・養殖魚の産地としてのさらなる認知度向上
- ・民間企業や新規就業者が参入しやすい環境整備(支援の充実、地元への理解促進)

- ・県1漁協構想の実現による拠点市場への集約化
- ・高知県漁協の買取販売の抜本的な強化
- ・買受人のさらなる連携による戦略的な外商活動の展開

- ・養殖魚の出荷形態をフィレ等に転換するための前処理加工能力の向上
- ・水揚げの集約化や県外からの調達による加工用原魚の安定確保

沿岸漁業生産額 400億円 + 水産加工出荷額 200億円 以上を目指す  
 ↳若者が住んで稼げる元気な漁村↳

# 商工業分野

現状

## 第2期計画の取り組み

H24

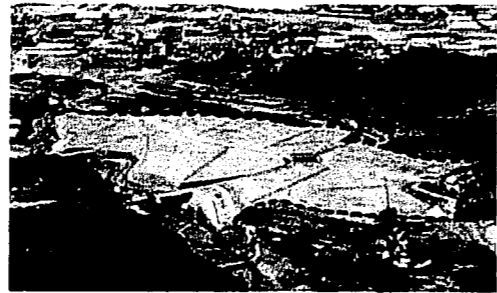
H25

H26

H27

ものづくりの  
基盤整備

- 県内企業の設備投資の促進
  - ・新たな補助制度の創設（冊子P326）  
（雇用要件等のハードルを緩和）
  - ・融資関連メニューの充実（冊子P326）
- 企業立地の受け皿となる工業団地の造成
  - ・香南工業団地の整備、新たな団地開発の推進（冊子P326）
- 新産業の創出に向けた産学官連携の推進
  - ・共同研究開発の推進と事業化（冊子P328）
- スキルを備えた技術人材の確保・育成
  - ・工業技術センターや高等技術学校等による技術支援・技術研修（冊子P328・330）
  - ・県内企業への就職促進に向けた産業界、学校、行政の連携強化（冊子P332）



高知テクノパーク

ものづくりの  
成長分野

- 企業立地の推進
  - ・全国トップクラスの助成制度を活用し、県内に不足している業種や地域資源の高付加価値化につながる企業等の立地を推進（冊子P342）
- 防災関連産業の振興
  - ・防災関連産業交流会の開催（冊子P334）
  - ・開発した製品の「地消」「外商」までステージに応じた総合的な支援（冊子P334）
- 成長分野の育成
  - ・売れる商品づくり（冊子P336）
  - ・事業化プランの早期実現に向けた総合的な支援（冊子P336）
- 官民が連携した協議会の支援による新たなコンテンツ産業（ソーシャルゲーム産業）の創出の土台づくり
  - ・「ソーシャルゲーム企画コンテスト」による新規ゲームを開発し、開発・運用・資金回収・次ゲームへの投資のサイクルを構築（冊子P338）
- ものづくりの地産地消
  - ・ものづくり補助金を活用した製品開発と県内への導入（冊子P340）
  - ・「地産地消」から全国へ売り込む「地産外商」への発展（冊子P340）



防災関連産業交流会



第2回高知県ソーシャルゲーム企画コンテスト入賞作品  
平成24年6月リリース

販売の拡大  
（地消・外商）

- 見本市や商談会等外商機会の拡大
  - ・受注拡大コーディネーター等による支援（冊子P346）
- 産業振興センターを中心とした外商機能の強化や知事等によるトップセールスの実施（冊子P346）
- インターネット利用による販売力強化
  - ・製造業ポータルサイトによる積極的な情報発信（冊子P346）
- 地域の賑わいの創出（観光等との連携による商業の活性化）
  - ・空き店舗を活用した新規出店等を支援（冊子P350）
  - ・チャレンジショップ事業を活用した独立開業の促進（冊子P350）



土佐せれくとしよっぴ てんこす

## 4年後の目標

（※はH24～H27の累計）

◆積極的な設備投資と技術力の強化が相まって、生産性や競争力が向上する。

- 新規工業団地面積 20ha ※
- 産学官連携産業創出研究推進事業を活用した新規事業化件数 3件以上※
- 工業技術センター等での技術研修 1,600人※
- 高等技術学校での在職者訓練 500人※
- 高校生県内就職率  
H22:58.1% →H27:72%

◆新たな企業立地が進むとともに、防災や食品、一次産業関連機器等の分野で競争力のある製品や企業が生まれ、県内外での本県企業への評価が高まる。

- 企業立地等の実現  
 新增設 40件※  
 製造品出荷額：360億円  
 新規雇用：1,300人※
- ものづくり地産地消補助金を活用した防災関連製品の開発数 20件※
- 成長分野育成支援  
 事業化プラン認定件数:60件※  
 販売額：H23:2億円→H27:40億円  
 (100億円※)
- 新規雇用：110人※
- 県内におけるソーシャルゲームの年商 20億円
- ものづくり地産地消補助金を活用した製品開発数 60件(防災関連製品20件を含む)※

◆数多くの企業が積極的な販売の拡大に取り組み、売上の増加につながるとともに、営業ノウハウ等も蓄積される。また、ものづくり産業の拡大、地消・外商の進展に伴い、商業・サービス業等が活性化される。

- 見本市・商談会の開催（防災関連、ものづくり地産地消含む）  
 受注金額：H23:2億円  
 →H27:8億円(20億円※)
- 商店街通行者数 66,000人(休日)  
 (H23の水準を維持)
- 空き店舗率 13.4%  
 (H22の水準を維持)

さらなる飛躍へのポイント

10年後の目指す姿

継続した団地開発と企業立地の推進  
（団地開発：約25ha）

県内企業の設備投資の促進とものづくりをリードする中堅企業の育成  
（全国並みの設備投資の実現、売上高10億円以上の企業数：2割増）

次世代の成長産業の育成  
（南海地震対策と連動した防災関連産業の育成：22億円）

地消・外商活動のさらなる強化と賑わいのある街づくり

全国と対等に競い合う企業が育ち、産業集積の拡大と県内でのサプライチェーンが実現  
～地理的なハンディを乗り越えて～

高知ならではの技術やノウハウを活かして、存在感をアピールできるものづくり産業の創出  
～防災産業とえば高知県～

全国に広がる Made in Kochiと商業の活性化

製造品出荷額等 5000億円以上を目指す

ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わい  
製造品出荷額等 6000億円以上を目指す

農林水・観光等の各分野での産業振興の


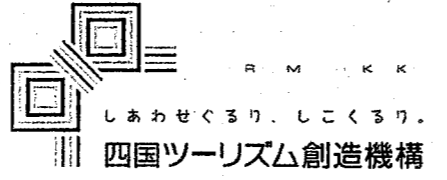


実現と相まって

※上記の「冊子POO」は、第2期高知県産業振興計画冊子（産業成長戦略編）におけるその項目の掲載ページです

# 観光分野

現状

## 第2期計画の取り組み

	H24	H25	H26	H27
観光拠点の形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の観光拠点づくりの推進 (冊子P378)</li> <li>○こうち旅広場のエントランス機能、ハブ機能の充実 (冊子P378)</li> </ul> 			
観光資源の発掘・磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○満足度の高い観光商品づくり (冊子P380)</li> <li>○新たな観光資源の創出 (冊子P382)</li> <li>○産業間連携による観光消費の拡大 (冊子P384)</li> </ul> 			
広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域コーディネート機能の強化 (冊子P384)</li> <li>○県内各地域との連携による周遊観光の推進 (冊子P386)</li> <li>○県域を越えた連携の推進 (冊子P386)</li> </ul> 			
広域観光の活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○統一キャッチフレーズ・キャンペーンの実施 (冊子P388)</li> <li>○ターゲットを明確にした広報・セールス活動の展開 (冊子P388)</li> <li>○四国ツーリズム創造機構等との連携による情報発信 (冊子P392)</li> <li>○全国大会や教育旅行、企業研修等の誘致 (冊子P392)</li> <li>○フィルムコミッションによるロケーション撮影の誘致 (冊子P392)</li> </ul> 			
人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光産業を担う人材の育成 (冊子P394)</li> <li>○観光ガイドの育成、技術の向上 (冊子P394)</li> <li>○観光事業者等へのおもてなし研修の実施 (冊子P394)</li> <li>○社会教育、学校教育における本県の文化・歴史等の学習機会の確保 (冊子P394)</li> </ul> 			
おもてなしの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○おもてなしの気運の醸成 (冊子P396)</li> <li>○観光ガイドの育成、技術の向上【再掲】 (冊子P396)</li> <li>○きめ細かな観光情報の提供 (冊子P396)</li> <li>○県内の観光地を結ぶ移動手段の確保 (冊子P398)</li> <li>○観光基盤の整備 (冊子P398)</li> </ul> 			
スポーツツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○推進体制の強化及び受入態勢の充実 (冊子P400)</li> <li>○年間を通じたスポーツイベント等の開催 (冊子P400)</li> <li>○アマチュアスポーツ合宿等の誘致活動 (冊子P400)</li> </ul> 			
国際観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○国別戦略に基づく誘致活動 (冊子P402)</li> <li>○受入態勢の充実 (冊子P404)</li> <li>○四国4県連携によるプロモーション活動の推進 (冊子P404)</li> </ul> 			

県外観光客入込数388万人 観光総消費額953億円 (H23)

※上記の「冊子POO」は、第2期高知県産業振興計画冊子(産業成長戦略編)におけるその項目の掲載ページです

## 4年後の目標

- 核となる観光拠点の整備 7箇所
- 一人当たり観光消費額 (H20) 25,459円 →27,500円
- 二泊以上の宿泊客数 (H20) 85.5万人→100万人
- リピーターの数 (H22) 50万人 →65万人
- 首都圏からの観光客数 (H20) 30.5万人→45万人
- 宿泊施設の稼働率 (H20) 37.8% →45.2%
- コンベンションの開催による入込数 (H23年度) 3万人→3.3万人
- 教育旅行等による入込数 (H23年度) 0.8万人→1万人
- 観光客満足度「大変よい」「良い」の割合が、H22のデータを毎年上回る (H22)
  - ・宿泊先 77%
  - ・食事・料理店 74%
  - ・観光施設 75%
  - ・観光施設の美化 72%
  - ・公共トイレの快適性 57%
  - ・案内標識 53%
  - ・タクシーの接客マナー 46%
- スポーツツーリズムの推進による新規入込客数 2万人
- 外国人延べ宿泊者数 (H22) 1.6万人泊 →3.2万人泊

●様々なイベントなどが年間を通じて開催され、新たな観光客の獲得ができてきている  
●地域観光の担い手が育ち、特色ある観光商品が次々と生み出され販売されている  
●核となる観光拠点を中心とした県内の地域周遊が進み、道の駅や直販所などでの観光消費が拡大している

## 県外観光客入込数400万人以上 観光総消費額1100億円以上を目指す

さらなる飛躍へのポイント

世界に通用する核となる観光拠点の形成	観光立県としての地位が確立し、県民にもその意識が定着している
三日以上滞在できる質の高い観光地づくり	「歴史」、「食」、「文化」など、本県が持つ優位性が観光地づくりに生かされ、国内外から県内各地に観光客が訪れることで、地域の活性化につながっている
国内ハブ空港などからのアクセシビリティの向上	●首都圏からの観光客数 55万人 ●外国人延べ宿泊者数 6.4万人泊
県内交通アクセスの充実	本県が持つ個性に県外客が惹かれ、リピーターとなって繰り返し訪れているとともに、中長期の滞在も進んでいる
ヘビーリピーターの拡大 (年に2回以上)	●一人当たり観光消費額 30,500円 ●リピーターの数 87万人
観光立県としての県民意識の醸成	観光拠点間を結ぶ交通アクセスの進展に伴い、様々な形の周遊観光が根付いている

県外観光客入込数435万人以上 観光総消費額1300億円以上を目指す  
地域の魅力が人を誘う、世界に通じる観光産業

# 地産地消・外商分野～食品分野～

現状

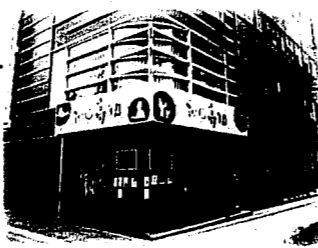
食料品製造業出荷額等 726億円(H22)

## 第2期計画の取り組み

	H24	H25	H26	H27
<b>生産</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業生産物の生産・出荷における高付加価値化の推進(冊子P154~173)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとまりのある園芸産地総合支援(園芸用ハウスの流動化促進、集出荷等施設の再編・集約化の促進)</li> <li>・環境保全型農業のトップランナーの地位を確立(IPM技術を全地域、全品目に普及、新施設園芸のシステム構築)</li> </ul> </li> <li>○加工仕向けの農産物の生産拡大支援(冊子P42,186~191,196)</li> <li>○漁業生産量の確保(冊子P262)と養殖漁業の振興(冊子P288)</li> </ul>			
<b>加工</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未利用原材料のマッチング支援(冊子P42)</li> <li>○直販所を販売拠点とした加工品開発支援(冊子P14)</li> <li>○農業・水産業の6次産業化支援(冊子P40,196)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・6次産業化をリードする人材育成</li> <li>・地域資源の商品化に向けた支援</li> <li>・こうち型集落営農を通じた拠点ビジネスづくり</li> <li>・農産物加工等のブラッシュアップ支援</li> </ul> </li> <li>○伝統的な水産加工業の振興(冊子P298)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・宗田節加工業・シラス加工業の振興</li> </ul> </li> <li>○企業の設備投資への支援の抜本強化(冊子P30)</li> </ul>			
<b>流通</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○官民協働による高知型物流の仕組みづくり(冊子P56)</li> <li>○農業の基幹流通の強化(冊子P174~181)</li> <li>○顧客と産地をつなぐ新たな受発注システムの構築(冊子P174)</li> <li>○こだわり野菜や果実と実需者のマッチング支援(冊子P178)</li> <li>○水産物の高鮮度物流システムの構築(冊子P284)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>(時間距離を短縮する新たな物流)</li> </ul> </li> </ul>			
<b>販売</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○まるごと高知を拠点とした外商活動の強化(冊子P52~57)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内事業者等との外商戦略の共有</li> <li>・県内での仕入れ体制強化</li> </ul> </li> <li>○関西・中部エリアでの仲介・あっせん強化(冊子P64,66)</li> <li>○大型量販店との包括協定を生かした全国展開(冊子P56)</li> <li>○農産物のパートナー店での販売強化(冊子P178)</li> <li>○新園芸ブランドによる販売強化(冊子P178)</li> <li>○マリン・エコラベルの活用などによる県産水産物のブランド化の推進(冊子P58)</li> <li>○水産物の買受人の組織化と主体的な活動の促進(冊子P284)</li> </ul>			

◎事業化された地域アクションプランの発展・拡大の支援、新たな事業化の支援(生産・加工・流通・販売までの一貫した支援)

◎産業人材育成プログラムの実践



スーパーマーケットトレードショー2012 高知県ブース

※上記の「冊子P〇〇」は、第2期高知県産業振興計画冊子(産業成長戦略編)におけるその項目の掲載ページです

## 4年後の目標

- 農業産出額 1000億円以上
- 販売金額が800万円以上の漁業経営体 510経営体(22%)以上

- 地域アクションプラン等の事業化・定着・規模拡大支援等 60億円増

〔新たな水産加工業の取扱高 10億円増〕

- プロモーション活動(広告効果25億円)も含めた外商活動による全国各地での成約金額 20億円

〔首都圏ほか 毎年500件×1百万円〕

- 継続的に貿易に取り組む食品企業が倍増 50社(輸出額2億円)

さらなる飛躍へのポイント

地域の壁を越えた事業者の連携

県外に流出している加工工程が県内でできるインフラの整備

産学官連携による技術革新

機能性成分を生かした商品開発

設備投資による加工規模の拡大

## 10年後の目指す姿

ALWAYS 地産地消

素材を生かした加工立県

全国ブランドに 県産品が

食料品製造業出荷額等

900億円以上を目指す

数多くの「新たな産業を担う人材」の輩出によりさらなる飛躍を目指す

農産品の販路開拓・販売拡大による事業者・生産者の所得の向上 食料品製造業出荷額等800億円以上を目指す